

Information2

今回は、**中毒**についてのお話。

中毒の定義が、
「化学物質や自然界に存在する物質の毒性によって生じた
生体の有害反応のこと」

このように中毒は、様々な要因で起こります！
日頃からキケンがたくさん・・・



食べ物

チョコレート・ぶどう・玉ねぎ
アボカド・キシリトール

化学物質

薬・サプリメント



植物

ユリ・スズラン
除草剤付着している草

動物

へび・ガマガエル
ねずみ



生活用品

電池・湿布
スプレー類・たばこ



⚠ 中毒にならなくても、誤食すると腸閉塞や胃に穴が開いたり・・・
ココに挙げていないキケンな物もたくさんあるので要注意

体内へは経口、経気道、経皮のいずれかから入る可能性があります。



中毒症状は主に、消化器症状の嘔吐・下痢・食欲不振

重篤になるとぐったりしている・痙攣が挙げられます。

その子次第で症状の重さが変わってきます。

発症前に対処することが大切になってきます。



《治療方法》

代表的な中毒特有の治療は主に3つ

除染、排泄の促進、拮抗薬の投与

① 除染・・・「中毒物質がさらに吸収されないようにする」

よく聞くのが催吐処置。誤食から**1～2時間以内の適応**です。

鳥の骨や尖っているものは吐いた際に喉に刺さると危険なため行わない。

② 排泄の促進・・・「一度体内に取り込まれた中毒物質を体外に出す」

静脈輸液や強制利尿、活性炭の反復投与、尿のアルカリ化、血液透析、脂肪乳剤投与などがあげられます。

静脈輸液や利尿を促すため、**バイタルや尿の変化をチェック**



③ 拮抗剤・・・「拮抗・解毒で中毒物質の効果打消し」

中毒を発生させない拮抗薬は限られています。

そのため病院に保有されているか確認が必要です。

なのでメインの治療は除染と排泄の促進と考えられています。



誤食による中毒はいつ起こってもおかしくありません。

食べてしまった物が何か分かっているかが**大切なカギ**！

日頃から今何をしているのかなどの観察をしておくことで

急な対応時に焦らず見ることが出来ます！

物が下に落ちてないか、与えてはいけない物を把握しているか

誤飲誤食の知識や対策を今一度見直しましょう！

